

LED電球は「天使の光」。CO₂削減の救世主。

環境経営を明確に掲げ、地球温暖化防止グループを発足しエコ活動を推進されているイビデン(株)さま。電球形LEDランプに300個交換されて、積極的に省エネに取り組まれているとの情報を聞きつけ、早速イビデン(株)本社のある岐阜県大垣市にお伺いして取材をしてきました。



▲取材風景
インタビューにお答えをいただいた松原さまと米山さま
総務・人事部 総務部長 松原 芳久さま(左)
環境技術部地球温暖化防止グループ グループマネージャー 米山 隆さま(右)

工事費をかけずに電球形LEDランプに300個交換。 今後はLED照明を各事業場に標準化で採り入れる計画。

イビデンさまの環境活動を教えてください

当社グループは環境経営を新中期計画に据えて、廃棄物ゼロエミッションの継続、地球温暖化の防止、リサイクル比率の向上などに加え、環境負荷を低減する技術・製品を提供することで、地球環境の保全に貢献しています。3年前に地球温暖化防止グループを発足して、生産設備においてもCO₂を排出しない環境設計、また再生可能なエネルギーを今後はどんどん増やしていく計画です。

LED照明を採用されたきっかけを教えてください

電気代やCO₂の削減を実施していかなければならない課題の中で、LEDは以前からスポットではなくベース照明として可能かどうかを検討していました。昨年、E-CORE40が量産化されたと聞き、北事業所に試験的に40台を導入してみて、社内的評価が高かったことから、本格的に本社でもLED照明を採用することになりました。今後は各工場や事業場に投資回収率が高いLED照明の導入を標準化する計画であります。

電球形LEDランプが採用となった理由を教えてください

一番の理由は既設の器具にそのまま交換して使えることです。社内の地球温暖化防止プロジェクトにおいてもLEDを推奨しておりましたが、正直なところ、どうしても工事費がかかるということで二の足を踏んでおりました。そこで、電球形LEDランプが発売になったと聞き、本社の既設器具のソケット(E26口金)にぴったり合うということで、すぐに交換してみようということになりました。

電球形LEDランプの効果はいかがですか？

実は、LEDは耐久性も良いということから、もっと良い使い方がないかということを探していました。そこで人感センサとの組み合わせがさらに効果的であろうということで、LEDと人感センサとの組合せで使用しています。トイレ、休憩室、食堂、更衣室といった常時人がいない場所には昨年一年間で、すでに人感センサが設置済となっていて、今後電球形LEDランプとの組合せで、約1/10～1/30の省エネ効果が上げられると予測しています。(注)

イビデンさまの更なるご発展と今後の地球温暖化防止活動に期待しております。

本日はありがとうございました。

(注)人感スイッチなど自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどには使用できない場合があります。



本社社屋外観

●本社所在地:岐阜県大垣市神田町2-1

●企業紹介:イビデン(株)は携帯電話のプリント配線板やパソコン向けICパッケージ基板といった電子部品関連、特殊炭素などのセラミック関連を主とする電気機器メーカーです。1912年に電力事業を行う会社として創業、現在は国内6事業場、世界15カ国に海外拠点を置く。SiC-DPF(炭化ケイ素製ディーゼル車黒煙除去フィルター)の生産では市場の約60%のシェアを占める。



▲3階ホール 3階は研修室で形成されるフロア。既設器具107台が電球形LEDランプ(白色相当)に交換されました



▲1階ホール 受付フロアの下がり天井部分には電球色相当の電球形LEDランプを50台交換



▲トイレ 人感センサとの組合せで約1/10～1/30の省エネを期待しているとのこと(注)



▲交換風景
交換作業をされた太田さま。「作業者3名で、約3時間足らずで300個のLED電球を交換できましたよ」
地球温暖化防止グループ 太田 拓児さま



▲交換後のダウンライト
高出力LED電球
(ミゼットレフ40ワット相当)に交換

編集後記

太田さまのお子様かLED電球を最初に見たとき、「まるで天使の光のようね」と開口一番に言ったそうです。子供の感性には輝く光に映ったのでしょうか。LED電球はまさに天使の光、そしてCO₂削減の救世主となれますように。